

# 台湾マダラクワガタ *Aesalus imanishii* Inahara & Ratti, 1981 のアロタイプとパラタイプの現状

横川忠司<sup>1,2)</sup>・山内健生<sup>3)</sup>・沢田佳久<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> 〒 669-1546 兵庫県三田市弥生が丘 6 丁目 兵庫県立人と自然の博物館

<sup>2)</sup> 〒 660-0064 兵庫県尼崎市稲葉荘 1 丁目 11 番地の 8 ベルテック武庫川 508 号室 生きもの科学研究所

<sup>3)</sup> 〒 080-8555 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地 帯広畜産大学昆虫学研究室

<sup>4)</sup> 〒 651-1112 兵庫県神戸市北区鈴蘭台東町 2 丁目 3-20

## The Present Conditions on the Allotype and the Paratypes of *Aesalus imanishii* Inahara & Ratti, 1981 (Coleoptera: Lucanidae)

Tadashi YOKOGAWA, Takeo YAMAUCHI, and Yoshihisa SAWADA

### 緒言

筆者らは、台湾マダラクワガタ *Aesalus imanishii* Inahara & Ratti, 1981 のタイプシリーズにおいて、原記載論文 (Inahara & Ratti, 1981) と異なる点があることを指摘した (横川・山内, 2018)。その主な点は、アロタイプの accession No. および、パラタイプの数と accession No. の不一致である。また、“Allotype” と “Paratype” と書かれたラベルを誰が付けたのかに関しても未解明だった。この論文が、当時、兵庫県立人と自然の博物館で甲虫を担当していた沢田の目に留まることとなり、沢田の記憶と当時の資料をもとに追加調査を行った。さらに、当タイプシリーズに関わった今西修氏と現在パラタイプの一部を保管している前田誠祥氏から当時の話や現状について話を伺うことができた。そこで横川・山内 (2018) の発表後に明らかになった事実と、現状や措置について報告する。

### アロタイプとパラタイプのラベル

2019年2月26日に兵庫県立人と自然の博物館にて、筆者3名で該当する本種の標本を確認した。沢田の記憶によると、原記載との照合なしに、ホロタイプの隣に配置されていた標本 (accession No.107704 の♀) をアロタイプ、それ以外をパラタイプと判断し、それぞれに沢田手書きのアロタイプラベル (横川・山内, 2018 図 3C-1) と、パラタイプラベルを添付した可能性が高い。また、横川・山内 (2018) の図 4 で示した「HOLO 金庫」, 「Allo 金庫」の手書きはいずれも沢田によるものであり、タイプ標本保管金庫へ移動する際に付けられたものであることを確認した。

パラタイプラベルについては、当館でつけられたものか稲原氏が付けたものか未解明だった (横川・山内, 2018)。沢田にもそれに関する記憶がない。横川・山内 (2018) では、このラベルの文字が「スタンプによって印字されたものと思われる」と述べたが、実体顕微鏡で詳細に確認したところ、コピー機 (トナー) で印字されたもの (図 1) であることが判明した。このことから、このラベルが稲原氏によって作成されたものではないと判断した。

### パラタイプの現状

タイプシリーズの採集者であり、原記載論文にパラタイプ 1 ♀ の所有者として明記されている今西修氏から以下の証言を得た。(1) 今西コレクションに入ったパラタイプは現在、大阪府在住の前田誠祥氏が保管している、(2) 共著者である Ratti 氏と比叡山自然科学館に保管される予定だったパラタイプ (各 1 ♀) はおそらく収められておらず、稲原コレクションに含まれている可能性が高い、(3) 稲原氏



図 1. 添付してあったパラタイプラベル。文字の周辺に細かいトナーが飛び散っている (白枠内が顕著)。

と今西氏は雌雄の同定ができていなかったため、パラタイプは3♀とされているが♂が含まれている可能性がある。

上記の証言を得て、前田誠祥氏に確認したところ、以下の証言を得た。(1)今西コレクションだった標本は現在前田氏が所有している、(2)パラタイプと思われる標本のラベルは、「Imanishi Collection's」と書かれた面全面が赤く塗られ、その裏面に採集データが記載されている。

したがって、パラタイプ3頭について、現在明確にパラタイプとわかるものは前田氏のコレクションに含まれる1頭のみである。

### 今回取った措置

ホロタイプについては現状を維持した。沢田が「Allotype」ラベルを付した1♀には、「Allotype」was labeled not by Mr. Nobuo INAHARA but by Dr. Yoshihisa SAWADA. Thus this specimen may not be the allotype. See YOKOGAWA *et al.* (2019) *Sayabane* (N. S.) (36) : 74-75.」と記述されたラベルを追加することとした。

そして、accession No.107702 (原記載ではアロタイプ♀に振られている)の♂には、「Paratype」was labeled not by Mr. Nobuo INAHARA. In INAHARA & RATTI (1981), accession No.107702 was designated as the allotype. This specimen may be designated in error because INAHARA could not identify sexes in this species. See YOKOGAWA *et al.* (2019) *Sayabane* (N. S.) (36) : 74-75.」と記述されたラベルを追加することとした。

一方、採集データラベルがなくパラタイプラベルが付いた標本1♂4♀に対しては、「Paratype」was labeled not by Mr. Nobuo INAHARA. Thus this specimen

may not be the paratype. See YOKOGAWA *et al.* (2019) *Sayabane* (N. S.) (36) : 74-75.」と記述されたラベルをそれぞれに追加することとした。

### まとめ

兵庫県立人と自然の博物館収蔵の台湾マダラクワガタのアロタイプラベルとパラタイプラベルが付けられた経緯を明らかにした。この経緯を簡潔に記載したラベルを作成し、それぞれのタイプ標本に添付した。また、当館以外に保管されているパラタイプについても調査し、今西修氏のコレクションに収められたパラタイプの現状について報告した。

### 謝辞

本種のタイプ標本や当時の状況について詳しいお話を聞かせていただき掲載の許可をいただいた今西修氏、かつての今西コレクション(現前田誠祥コレクション)の現状などについてご教示、掲載の許可をいただいた前田誠祥氏、ならびに今西氏と前田氏との連絡に便宜を図っていただいた小田中健氏、初宿成彦氏、谷角素彦氏、松田潔氏に厚くお礼申し上げる。

### 引用文献

- Inahara, N. & Ratti, P., 1981. Description of a new species of Lucanidae from Formosa (Taiwan) : *Aesals imanishii* (Coleoptera). Bull. Ann. Soc. Royale Belge d'Ent., 117: 189-194.  
 横川忠司・山内健生, 2018. 台湾マダラクワガタ *Aesals imanishii* Inahara & Ratti, 1981 のタイプ標本. さやばねニューシリーズ, (32) : 7-9.

(2019年9月28日受領, 2019年11月20日受理)

### 【短報】石垣島におけるイシハラクロコメツキダマシの記録



Fig. 1. *Euryptychus ishiharai* Hisamatsu from Ishigaki-jima Island, Japan, ♂.

イシハラクロコメツキダマシ *Euryptychus ishiharai* Hisamatsu, 1994 は、九州(宮崎)、屋久島、奄美大島、沖縄島、小笠原諸島の母島に分布すること知られている種であるが、これまでに八重山諸島からの記録はなかった(笹岡・木野田, 2012; 鈴木, 2007, 2013)。筆者は最近、石垣島で採集された個体を検する機会を得たので、ここに記録しておきたい。報告に当たり、貴重な標本をご提供いただいた和歌山市の平

松広吉氏と川崎市の川田一之氏に厚くお礼申し上げます。なお、標本はいずれも筆者が保管している。

1♂ (Fig. 1), 沖縄県石垣市於茂登トンネル付近, 8-10. VII. 2019, 川田一之採集 (UV LED FIT); 1♀, 石垣市バンナ岳, 12. VII. 1970, 的場績採集。

### 引用文献

- 笹岡康則・木野田毅, 2012. 宮崎県内のコウチュウの記録 II. タテハモドキ, (48) : 19-32.  
 鈴木 互, 2007. 屋久島におけるイシハラクロコメツキダマシの記録. 甲虫ニュース, (159) : 15.  
 鈴木 互, 2013. 九州および沖縄本島から発見された興味あるコメツキダマシ2種. さやばねニューシリーズ, (9) : 30-31.

(鈴木 互 211-0031 川崎市中原区木月大町 6-1 法政大学第二高等学校生物科)